

「第 2 期北海道スポーツ推進計画」素案（修正版）の概要

スポーツ王国北海道

～「スポーツの風」で未来をひらく～

1 計画策定の趣旨・背景

- ラグビーワールドカップ 2019 大会や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催等を契機に、我が国のスポーツに対する注目がこれまでにないほど高まっている。
- 国においては、平成 27(2015)年 10 月にスポーツ行政を総合的・一元的に推進するスポーツ庁が設置され、また、平成 29(2017)年 3 月にスポーツ立国の実現を目指す上での重要な指針となる基本計画として、第 2 期スポーツ基本計画が策定された。
- 道では、平成 25(2013)年度からの 5 年間の計画期間とした「北海道スポーツ推進計画」を策定し、スポーツ王国北海道の実現に向けスポーツ振興に取り組んできたが、この度、国の新しい計画の策定を踏まえ、今後の 5 年間の計画期間とする、「第 2 期北海道スポーツ推進計画」を策定する。

2 第 2 期計画（案）の概要

第 1 章 第 2 期北海道スポーツ推進計画の策定に当たって

| 項目 | 内容 |
|-------------|--|
| 計画の位置づけ | ・スポーツ基本法第 10 条に基づく計画 ・「北海道総合計画」の特定分野別計画 |
| 計画の期間及び推進管理 | ・平成 30(2018)年度から平成 34(2022)年度までの 5 年間 ・推進状況について、毎年度、「北海道スポーツ推進審議会」に報告 |

第 2 章 めざす姿と基本方針、5 つの柱

計画期間中に開催される東京 2020 オリパラの好機を活かし、この大会の成功に向けて国の様々な政策や経済・企業活動が集中的に投入される「オリンピック・パラリンピックムーブメント」をしっかり捉え、取組を加速させ、大会後に「スポーツ王国北海道」や共生社会など、北海道らしいレガシーの創出をめざす。

| 項目 | 内容 |
|----------------|---|
| 基本方針 | ・北海道らしく、スポーツを「する」「みる」「ささえる」 ・スポーツの価値で、北海道に好循環（ひと、もの、げんき）を生み出す ・スポーツで北海道と世界をむすぶ ・東京 2020 オリパラの好機をつかみ、「その先の、道へ。」つなぐ |
| 計画策定における 5 つの柱 | ・柱 1 スポーツで変わる北海道民 ・柱 2 スポーツで変える地域・経済・共生社会 ・柱 3 「どさんこ選手」の国際競技力の向上 ・柱 4 スポーツを通じた人づくり ・柱 5 東京 2020 オリパラの開催、札幌冬季オリパラによる北海道レガシーの創出 |
| めざす姿 | ・スポーツ王国北海道の実現～「スポーツの風」で未来をひらく～ |

第3章 5つの柱の具体的方策

| 項目 | 内容 |
|--|--|
| 柱1 スポーツで変わる北海道民 | <p>世代や性別、障がいの有無などにかかわらず、道民がスポーツに参画できるように、行政や学校、家庭、地域、企業など様々な主体が連携し、スポーツに親しむ機会の拡充を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 様々な世代のライフステージに応じたスポーツ活動の推進 2 幼少期からのスポーツ機会の充実と子どもの体力向上 3 スポーツに親しむ場の確保 4 スポーツをみる・ささえる応援文化の構築 |
| 柱2 スポーツで変える地域・経済・共生社会 | <p>様々な分野がスポーツにかかわり連携することにより、地域や経済の活性化を図るとともに、誰もがスポーツを通じ、支え合う共生社会を築きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツによる地域の活性化 2 スポーツの成長産業化 3 スポーツでつくる優しい共生社会 |
| 柱3 「どさんこ選手」の国際競技力の向上 | <p>本道出身のアスリートが国際大会で活躍できるように、ジュニア期からの発掘・育成・強化を図るとともに、指導者育成などの環境整備を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 競技力向上に向けたアスリート強化、指導者の充実 2 世界に羽ばたく次世代アスリートの発掘・育成 3 国内外からのスポーツ合宿の誘致促進や海外アスリートとの交流機会の拡大 4 ウィンタースポーツの競技力向上 |
| 柱4 スポーツを通じた人づくり | <p>スポーツの持つ力に着目し、スポーツにかかわる様々な人材の育成に向けた環境づくりに取り組みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツによる人間力の形成 2 スポーツ人材の働く環境づくり 3 スポーツボランティアの普及促進 4 大学との連携によるスポーツ人材の養成 |
| 柱5 東京2020オリパラの開催、札幌冬季オリパラによる北海道レガシーの創出 | <p>東京2020オリパラの開催を好機と捉え、大会の成功に向け、自治体や経済界などあらゆる機関がかかわり、北海道らしいレガシーを創造するとともに、札幌冬季オリパラの実現に向けた道内の機運醸成に努めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 東京2020オリパラ開催による好機の活用 2 札幌冬季オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成 |

3 パブリックコメント等を踏まえた主な変更点

パブリックコメント等の意見を踏まえ、記載内容を一部修正又は追加。

- ・ 総合型地域スポーツクラブの育成方策等について記載 (第3章 柱1)
- ・ 体力向上に関する取組について、市町村の先進事例の紹介することを記載 (第3章 柱1)
- ・ 部活動指導員等の地域の指導者の確保に向け、その方策等について記載 (第3章 柱1)
- ・ 道民が手軽に取り組めるスポーツとしてサイクリングや、スポーツツーリズムの一例としてサイクルツーリズムについて記載 (第3章 柱1、柱2)

4 今後のスケジュール

- 平成30年3月 計画決定・公表
市町村・関係機関通知